

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 県立老人福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2601)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 306,733 千円 (前年度予算額：47,283 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	47,283	0	0	0	0	0	0	42,200	5,083
要求額	306,733	0	0	0	0	0	0	274,000	32,733
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県立寿楽苑及び飛騨寿楽苑は開設後相当年が経過し、施設、設備の経年劣化が進んできている。

今後の両施設の長寿命化のためには、大規模な営繕工事等を計画的に行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する必要がある。

(2) 事業内容

- ① 寿楽苑空調設備改修工事 (R3：R4=60：40) 139,437 千円
- ② 飛騨寿楽苑屋上防水・外壁改修工事
 <1工区> (R3：R4=0：100) 0 千円
- ③ 寿楽苑高圧受電設備更新工事实施設計 2,815 千円
- ④ 飛騨寿楽苑厨房エアコン設置工事 3,932 千円
- ⑤ 寿楽苑空冷ヒートポンプエアコン更新工事实施設計 2,944 千円
- ⑥ 飛騨寿楽苑 LED 照明導入工事实施設計 4,117 千円
- ⑦ 寿楽苑 LED 照明導入工事 (実施設計含む) 69,967 千円
- ⑧ 飛騨寿楽苑トイレフラッシュバルブ更新工事 48,278 千円
- ⑨ 飛騨寿楽苑遮熱フィルム貼付工事 35,243 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	784	工事現場への出張旅費
需用費	213	事務用品購入費、コピー代
燃料費	140	公用車ガソリン代
役務費	61	郵送料・通信費
委託料	13,448	工事実施設計委託料
使用料	50	有料道路使用料
工事請負費	292,037	空調設備改修工事費等
合計	306,733	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県高齢者安心計画に掲載予定

岐阜県県有建物長寿命化計画

(2) 後年度の財政負担

後年度も計画的な営繕に伴う負担が必要となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 老朽化が進む県立老人福祉施設の大規模な営繕工事を計画的に行い、利用者に安心・安全な生活環境を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

施設の長寿命化のための各種事業の実施であることから、指標の設定は馴染まない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容
【令和2年度】
 以下の3事業について実施中（令和2年11月末現在）

- ・寿楽苑空調設備改修工事実施設計
- ・飛騨寿楽苑屋上防水・外壁改修工事実施設計
- ・飛騨寿楽苑中央監視装置更新工事

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	○ 施設利用者及び職員に安心・安全な生活環境を提供するための事業であり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 常に入所者に配慮した工事の実施が求められ、また一定時期に必要な工事が集中する可能性があることから、計画的な実施が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 両施設の優先順位を考慮し、中長期的な計画に基づく事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	なし
組み合わせる理由や期待する効果 など	